



住まいの防災・減災情報 雪災

本サービスは、弊社の豊富な事故データをもとに、事故の防止・被害軽減策についてシリーズでご紹介します。今回は「雪災」をテーマに配信しますので、対策にあたってお役立ていただけますと幸いです。

みんなの声

今回のテーマ

「実際に役立った我が家の防災」

皆さまの経験談などの生の声を、より役に立つ情報としてメール内で発信していきますので、回答へのご協力をよろしくお願いします。

回答はこちらから

回答集計後、次回以降のメールで発表します！

▶ 地球温暖化により想定外の雪の事故が増加？

▶ 雪から住まいを守るために

- 日頃から点検を
- 豪雪地帯 復旧までに数か月かかることも・・・
- 非豪雪地帯 カーポートに注意



▶ 防災豆知識「備えない防災～フェーズフリー～」

地球温暖化により想定外の雪の事故が増加？

専門家の見解

I-レジリエンス株式会社
クロスアポイントメント研究員 山口 悟さん

地球温暖化に伴い雪が積もる期間は短くなっている一方、短時間の集中豪雪が増え、また、雪自体が湿った重い雪質に変わってきています。

この図は2017年～2023年に24時間の降雪量記録が更新された地点を示しています。

全国の広い範囲において集中豪雪が発生するリスクがあることが分かります。



出典：Journal of Disaster Research Vol19 P734

雪シーズンは短くなっても 雪の事故は減らない？

雪質が湿った重い雪に変化することで、住宅の屋根などに見た目以上に重い雪が積もり、屋根に想定以上の負荷をかけたり、落雪によって大きな衝撃を与えるかもしれません。今まで蓄積してきた経験則が通じない想定外の事故が増加する可能性があります。



雪から住まいを守るために

日頃から点検を

雪から住まいを守るためには、定期的なメンテナンスが不可欠です。屋根や雨どい、カーポートなどを簡易チェックシートを活用して、点検してみましょう。

※画像をクリックすると
チェックシートが開きます。



豪雪地帯

復旧まで数か月かかることも・・・

事故例

損害額：150万円

大雪で2階の屋根に積もった雪の塊が凍った状態で落下したことで1階の屋根部分が破損し、そこから雪解け水が浸入した。



修理業者も忙しくなるため、修理までには相当な時間を要し、その間雨漏りを凌ぐのは大変です。

対策
これだけ
でも！

適切なタイミングで雪下ろし

雪の「深さ」だけでなく、「重さ」を確認して、家屋やカーポート等に負荷がかかる前に除雪をしましょう。

自然災害リアルタイム情報を活用できます！

STEP 1

自然災害
リアルタイム情報に
右のバナーからアクセス！



STEP 2 「積雪重量」を確認！

「大雪・寒波」タブをクリックし、
「積雪重量」タブをチェック



毎週、リスクが高くなりそうな地域に配信される「大雪警戒アラート」では、地域ごとに除雪日和の日も示しているので、ご活用ください。



- 雪下ろしの際は必ず2人以上で作業し、難しい場合は無理せず専門業者に依頼しましょう。
- 安全な雪下ろしの方法は専用サイトもご確認ください。

非豪雪地帯

カーポートに要注意！

損害額：110万円

事故例

積雪によりカーポートがつぶれて車が下敷きになった。また、雪の重さで雨どいが歪んだ。



カーポートがつぶれてしまうことで、車にも損害が生じる可能性があるため注意が必要です。



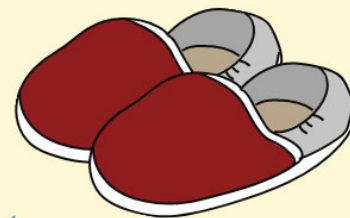
雪落とし棒を事前に用意

カーポートや雨どいに積もった雪を少しでも早く除雪し、なるべく負荷をかけないようにすることが重要です。カーポートや屋根に上らなくても除雪ができる「雪落とし棒」を事前に用意し、いざというときに備えましょう。



落とした雪が自分に落ちてくる危険性があります。長めの棒を使用して屋根から距離を取るなど、細心の注意を払い、必ず2人以上で作業しましょう。

防災グッズ豆知識



備えない防災～フェーズフリー～

身のまわりにあるモノやサービスを、日常時はもちろん、非常時にも役立つようにデザインしようという考え方をフェーズフリーといいます。

フェーズフリーグッズの一例として、防災スリッパがあげられます。固いガードや補強素材が使われていたり、散乱した物の上を歩きやすい滑り止め付きだったり足を守る工夫がされています。

弊社Webサイトにて、日頃からの備えに役立つ防災・減災情報を見ることができますのでぜひご活用ください

あしたの笑顔のために
防災・減災情報サイト